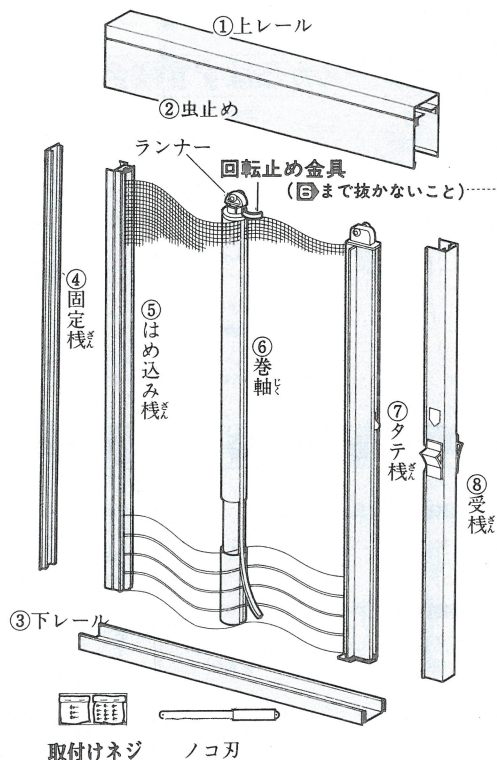
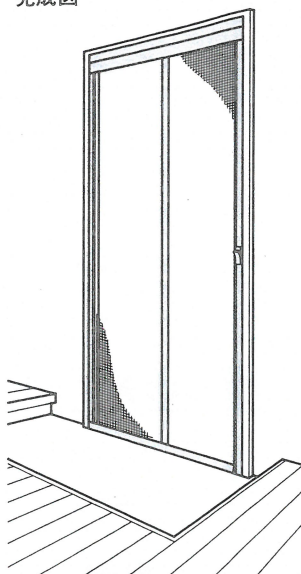


ロールマイティ網戸Ⅱ 取付説明書

取付説明書をよく読んで正しくご使用下さい。

●取付け前に図のようにならべて確認して下さい。

完成図



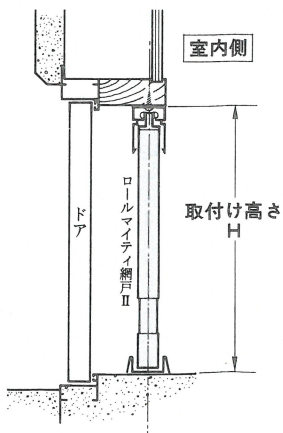
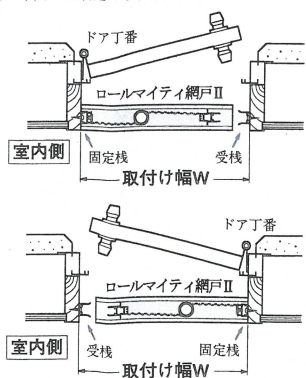
取付けネジ ノコ刃

説明をよく読んで部材を切断してから取付けて下さい。

取付け位置

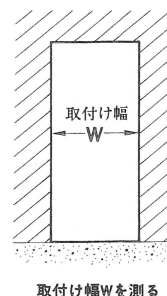
木枠がなければ、そのままでは取付けできません。

ドアの開きが左右逆でも取付け出来ます。



①ヨコ切断

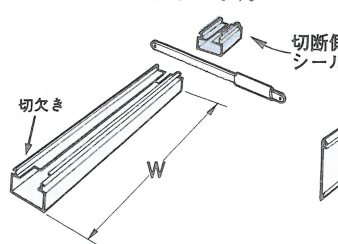
ヨコの部材は取付け幅Wを測ってから切断します。ノコ刃や部材の切り口等でケガをしないようにご注意ください。



取付け幅Wを測る

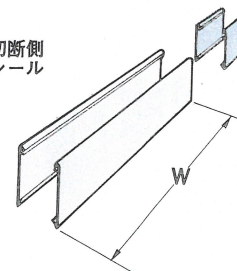
①上レール

虫止めを抜いて、取付け幅Wに合わせて切欠きの反対側を切ります。



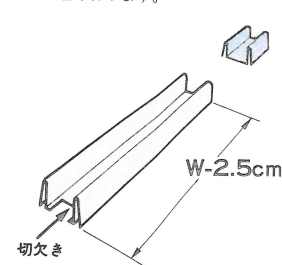
②虫止め

上レールと同寸法に切ります。



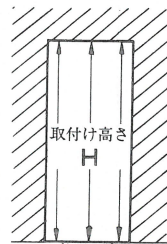
③下レール

切欠きの反対側をWより2.5cm短く切ります。

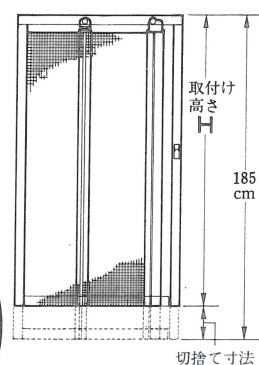


②タテ切断

タテ部材の長すぎる分を一定の寸法で切りつめればOK!



取付け高さHは3ヶ所を測り一番小さい寸法をHとして下さい。大きい寸法をHとするとタテ部材が下レールにこすることがあります。



切る寸法は?

タテ部材の長さはそのまま切らずに使用すると、取付け高さが185cmの時に合うように出来上っています。

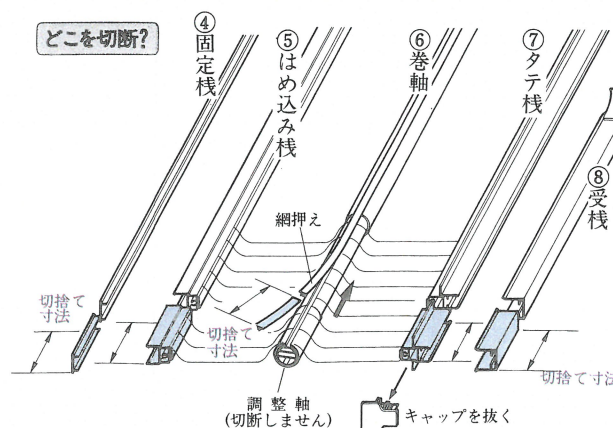
★取付場所の取付け高さHを測り、185cmとの差を切り捨てして下さい。

$$185\text{cm} - (\text{cm}) = \text{cm}$$

取付け高さH 「切捨て寸法」

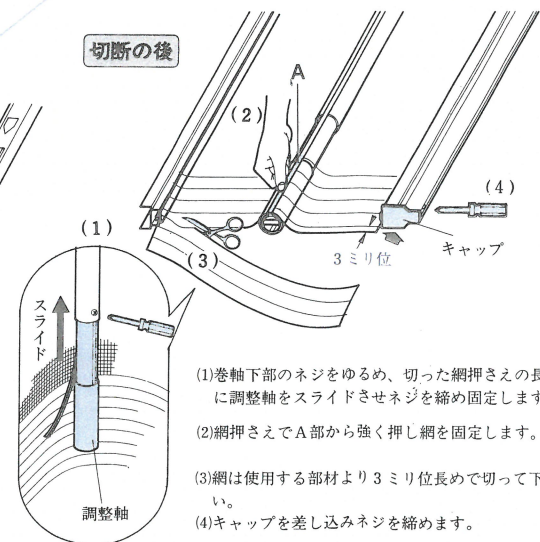
(例) 例えば取付け場所の「取付け高さH」が180cmのときは185cm-180cmで「切捨て寸法」は5cmです。各タテ部材は一定の「切捨て寸法」5cmで切断すると「取付け高さH」の180cmに合うようになります。(タテ棧及び巻軸は、下レールより4mm浮いた寸法設定にしています。)

どこを切断?



部材は調整軸をのぞきすべて下側を同じ 切捨て寸法 で切ります。
(調整軸はウラ側のネジをゆるめればスライドできます。)
④と⑧は切断側のシールが貼ってあります。

切断の後

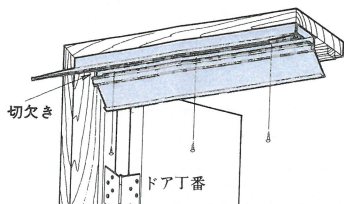


- (1)巻軸下部のネジをゆるめ、切った網押えの長さに調整軸をスライドさせネジを締め固定します。
- (2)網押えでA部から強く押し網を固定します。
- (3)網は使用する部材より3ミリ位長めて切って下さい。
- (4)キャップを差し込みネジを締めます。

取付け順序

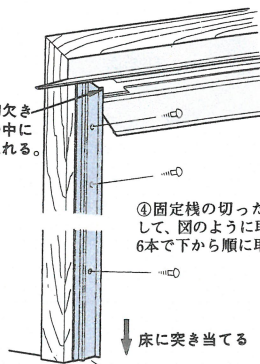
1 上レールの取付け

- 仮止めテープ ①上レール 傾けてスライド
②虫止メ
- (1) 上レールに虫止メを両側とも差し込み、仮止めテープをはがします。
(2) 切欠きをドア丁番側にして、取付ネジで固定します。



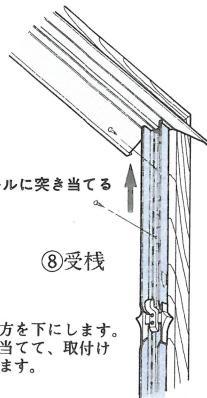
2 固定枠の取付け

- 切欠きの中に入れる。
- ④固定枠の切った方を下にして、図のように取付ネジ6本で下から順に取付けます。
- 床に突き当てる
- ④固定枠



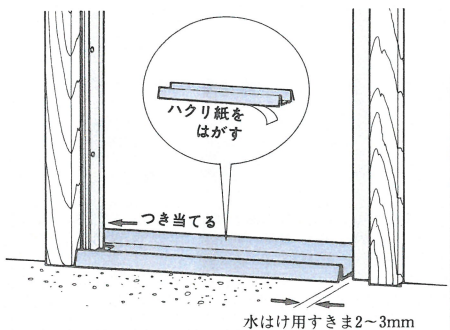
3 受枠の取付け

- 上レールに突き当てる
- ⑧受枠
- ⑧受枠の切った方を下にします。上レールに突き当てて、取付ネジ6本で取付けます。



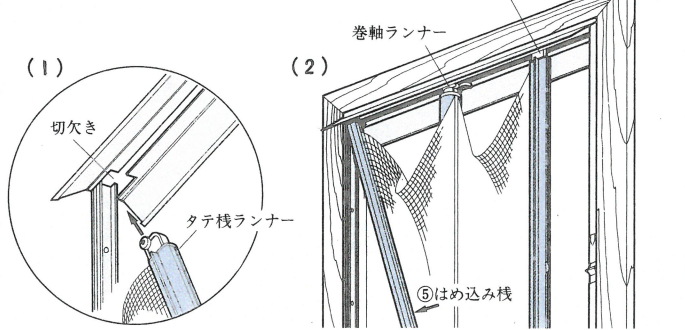
4 下レールの貼付け

- ハクリ紙をはがす
- つき当てる
- 水はけ用すきま2~3mm
- 下レールの切欠きを固定枠に突き当てて、強力粘着テープで貼付けます。
(貼付部の砂やほりは取り除き、乾いた状態で貼って下さい)



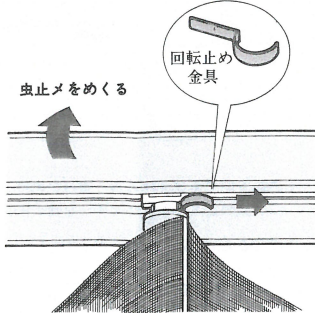
5 上レールにランナーを入れる

- タテ枠ランナー
- 巻軸ランナー
- (1) 各枠を斜めにして、上レールの切欠きによりタテ枠ランナー、巻軸ランナーの順に入れます。
(2) 最後に⑤はめ込み枠を上レールの切欠きに入れてから下レールに突き当てて④固定枠にはめ込みます。
(これでランナーは抜けません。)
- ⑤はめ込み枠



6 回転止め金具を抜く

- 虫止メをめくる
- 回転止め金具
- 巻軸ランナー部にさしてある回転止め金具を抜くと回転力が発生します。その際、巻軸が見えるまで網をひろげ、しわを取ってから巻軸に巻取らせませす。



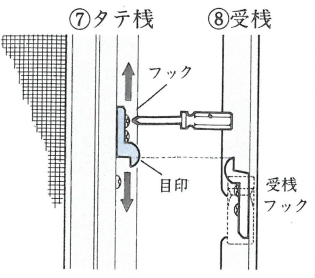
これで完了です

お取付けありがとうございました。

- 使用上の注意
開閉に際しては、指等をはさまないようにご注意ください。
- この説明書と回転止め金具はぜひ保管しておいて下さい。
- ネットの交換の際は「ロールマイティ網戸Ⅱ交換ネット」をお求め下さい。
(ネットの柄が変わっている場合もありますのでご了承ください。)

ロックかかりの良くない時は
下のように調整して下さい。

- ⑦タテ枠 ⑧受枠
- フック 目印 受枠 フック
- タテ枠のフックのネジを2本ゆるめて目印を受枠フックの先端に合わせてネジを締めて下さい。

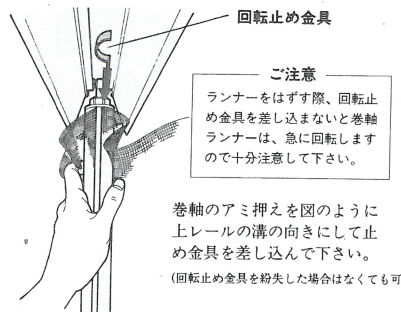


こんな場合のチェック方法

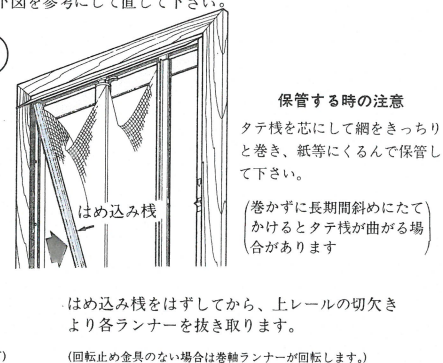
- 網にしわがでるとき……いったん網をひろげしわをとって、巻軸に巻取らせませす。
- 巻取りにくいとき……下レール面に巻軸、タテ枠キャップ、ネット等がこすっていませんか？
下レール面にこすらないように直して下さい。
- ロックのかかりが良くないとき……左下図を参考にして直して下さい。

本体をレールからはずす場合

- 回転止め金具
- ご注意
ランナーをはずす際、回転止め金具を差し込まないと巻軸ランナーは、急に回転しますので十分注意して下さい。
- 巻軸のアミ押えを図のように上レールの溝の向きにして止め金具を差し込んで下さい。
(回転止め金具を紛失した場合はなくても可)



- 保管する時の注意
タテ枠を芯にして網をきっちり巻き、紙等にくるんで保管して下さい。
(巻かずに長期間斜めにたてかけるとタテ枠が曲がる場合があります)
- はめ込み枠
- はめ込み枠をはずしてから、上レールの切欠きより各ランナーを抜き取ります。
(回転止め金具のない場合は巻軸ランナーが回転します。)



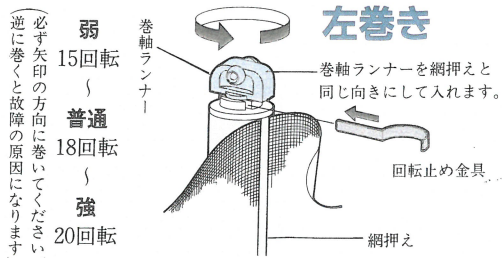
再度、取付ける時

- 回転止め金具がある場合
取付け順序の⑤と⑥を行なって下さい。
- 回転止め金具がない場合
(1) まず⑤の(1)の図を参考に上レールの切欠きよりタテ枠ランナーを入れます。
(2) 次に巻軸ランナーを矢印の向きに20回位巻いて、回転が戻らないように指で押えながら(1)と同様に、上レールに巻軸ランナーを入れます。
最後に⑤の(2)を行います

取付け前に回転止め金具が抜けた時

回転止め金具はレールに取付けるまでの間、回転力を維持するためにさしてあり、抜くとランナーが回転します。
巻き軸ランナーを矢印の向きに20回位巻いてその状態を保ちながら回転止め金具を差し込むと元の状態になります。

- 必ず矢印の方向に巻いてください
逆巻くと故障の原因になります
- 弱 15回転
普通 18回転
強 20回転
- 左巻き
巻軸ランナーを網押えと同じ向きに入れて下さい。
- 回転止め金具
網押え



ランマ付きアルミ枠ドアの場合

網戸の取付け高さが165~185cmになるよう、下図のように別売品「ドアクローザよけ部品」(高さ調整材)を取付けて下さい。

- 別売品「ドアクローザよけ部品」を用意して下さい。
- アルミランマ 上レール取付け材
- ブラケット
- 柱(又は額縁)
- ここに取付けて下さい。
- ロールマイティ網戸Ⅱ取付け位置
- 網戸の取付けできる高さ寸法は165~185cmですので、図のように、ランマとドアの間に、高さ調整材として別売品「ドアクローザよけ部品」を取付けて下さい。

